

# 【参考】地域の産業・雇用創造チャートの概要

～統計で見る稼ぐ力と雇用力～

統計データを活用し、経済理論に基づき地域経済を分析（オープンデータの活用）  
「経済分析に資するデータ」の提供にとどまらず、「統計データを活用した経済分析結果」を提供  
全市町村分の「地域の産業・雇用創造チャート」を提供し、その現状把握を強力に後押し

## 公表済みの統計データ

- 平成21年経済センサス - 基礎調査
- 平成24年経済センサス - 活動調査 等

(オープンデータの活用)

## 経済理論

- 修正特化係数(※)が1より大きい産業が地域の外から稼いでいる産業（基盤産業）の目安
- 基盤産業の労働者数の維持が人口維持の鍵

※ 修正特化係数とは（具体例）

奈良県の繊維工業従事者比率（約1.7%）を日本全体の繊維工業従事者比率（約0.7%）で割った値（約2.5）が奈良県の繊維工業の特化係数。修正特化係数はそれを輸出入額で調整したもの

## 地域経済分析システム（まち・ひと・しごと創生本部）

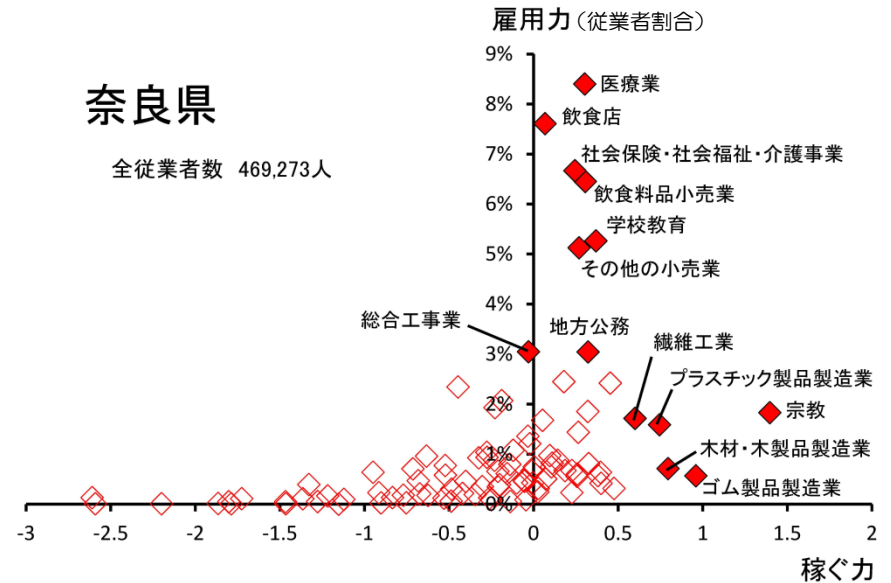
地域の企業の詳細なデータを分析して提供

相互補完

## 地域の産業・雇用創造チャート

### 奈良県

全従業者数 469,273人



※ 「稼ぐ力」とは、修正特化係数を対数変換したもの。修正特化係数が1以上の産業は0以上、1未満の産業は負になる。

## 地域の産業・雇用創造チャート（総務省）

オープンデータの活用により地域産業構造を可視化

地方におけるデータ分析から地方創生へ